

創設 50 周年記念リトミック本部講習会 参加してきました(2013年10月発信)

全日本リトミック音楽教育研究会創設 50 周年記念本部講習会(10月12日・13日:国立音楽大学附属中学校・高等学校)に、柿本支部長とともに筆者も参加してまいりました。



会場の国立音楽大学附属中学校・高等学校校舎

創設者の板野平先生の出身は広島です。本会のスタートは平和都市「広島」という縁から、開会式では、広島支部長である柿本先生のスピーチがありました。そのスピーチでは、創設期の理念、当時の関係者のさまざまな願いが語られました。柿本先生も本会の歴史を創ってこられたお一人。先生自身の長年の思いも伝わってくるお話でした。



左から、柿本広島支部長、広瀬蓉子会長、筆者

講習会は2日間にわたって行われ、本部の指導講師陣によるさまざまな講習がありました。広島でもおなじみの石井亨先生、坂本真理子先生をはじめ、日本の中心地ならではの優れた先生方の講習をいくつも受けることができました。講習会の様子は、本部のホームページにて紹介されると思います。

この度の講習会は、全国各地から100名を超える参加者があったようです。おかげで、各地のさまざまな先生方や本部の先生方と交流することができました。本部も各支部も、熱い思いで活動されていることがよくわかり敬服しました。広島も全国のみなさんと足並みをそろえてがんばっていかねばと思います。広島支部のみなさん、これからもよろしくお願ひします。



閉会式で挨拶される柿本先生



上の写真は、閉会式の直前に撮ったスナップです。向かって左より、大谷純一先生（本会副会長・神奈川支部長）、柿本先生、丹原要先生（ピアノ演奏者）。大谷先生は2日目に「リズムパターンを使った表現を楽しむ」というテーマで講習されました。とっても楽しかったです。90分のうち、何回笑ったことか。丹原先生は、開会式直後に、ダルクローズの作品を演奏してくださいました。「6つのミニチュール」「ヴァルス・カプリース」他のプログラムでした。和音の移り変わり、メロディーの繊細な動き。ダルクローズの作曲家としてのロマンチズムが見事に伝わる名演を披露されました。